



フィジー通信

No. 5
2019年2月

青年海外協力隊2017年度1次隊 栄養士 佐藤綾己（あやみ）



Bula! 皆さん既にご存知かと思いますが、2019年ラグビーワールドカップでのフィジー代表の事前合宿が秋田市で行われることが決定しましたね。ラグビーはフィジーで最も人気のあるスポーツです。日本で子どもが将来の夢にプロ野球選手をあげるのと同じように、フィジーの多くの子どもたちはプロラグビー選手になりたいと夢見ています。私の職場では代表戦が日中にテレビ中継される時には仕事の手を止めて応援します。また、人気と同時に強さも兼ね備えており、2016年のリオオリンピックでは7人制ラグビーで金メダルを獲得しています。この金メダルはフィジーにとって特別なものでした。なぜなら、これはフィジーがオリンピックで獲得した初めてのメダルだったからです。私は残念ながらその時まだフィジーに来ていませんでしたが、人々の興奮や街のお祭り騒ぎは相当なものだったと聞きました。そんなフィジーラグビーが大切な大会のための事前合宿を秋田市で行う。合宿期間である今年の9月7日（土）～12日（木）は秋田がラグビーで盛り上がること間違いなしですね! もちろん私も応援に行きます!



▲ラグビーを楽しむ人で賑わっている夕方の運動場



▲金メダルの記念につくられた7ドル紙幣と50セントコイン

フィジーから見た日本

フィジー人は日本について「ビッグカントリーだろう?」とよく言います。確かに四国ほどの面積のフィジーからしたら日本は大きいかもしれませんが、このビッグが指しているのは土地の大きさだけでなく、技術の発達も含めてのことです。

フィジーに来てまず初めに驚くのは日本車の多さです。これは私の感覚ですが、この国で走っている車の8割以上は日本の中古車だと思います。トヨタのプリウスや日産X-Trailといった大きい車が人気です。おそらくフィジー人は体が大きいので、車も大きいものが乗りやすいのだと思います。日本食も好まれており、特に寿司（こちらでは巻き寿司が「寿司」として一般的です）は老若男女に大人気です。

これまでに日本に行ったことがあるフィジー人には20人ほど出会いました。観光ではなく留学や仕事の研修で日本に行く人が多いです。実際にフィジーから日本へ気軽に行くことは難しいですが、フィジーにいても日本を感じる機会は多く、そんなに遠すぎる国ではないのかもしれません。



▲トヨタ、トヨタ、トヨタ



▲ナンバープレートには日本語で「日本からフィジーへ」

日本からフィジーへの支援

現在、日本はフィジーに対し様々な支援を行っています。私の所属であるJICAは社会・経済インフラ、教育、保健、環境、防災などの各分野において事業を展開しています。特に電気や水の整備、生活習慣病の改善については実際に従事している専門家の方々とお話をさせていただいたことがあり、人々の生活の質の向上を願うとともに、仕事に楽しそうに向き合っている姿が印象的でした。実際に国をつくるのはその土地に住んでいる人。お金を出すことやモノをつくることだけが支援ではありません。この先継続して使える技術を伝えるのは人間同士のことです。国が育つのも人と人の関わり合いがあってこそなのだと、ここに来て考えました。

では、フィジーと秋田は？

同僚がある日突然、「昨日から近所の子が日本の秋田っていう所に行ってるんだよ」と言いました。耳を疑いましたが、本当でした。中学生のラグビー交流プログラムで本当に秋田に行っていたのです。今のところフィジーでのアキタといえば、どこの国のか分からない電化製品メーカーが有名です。冷蔵庫や扇風機はAKITAというメーカーのものが出回っています。このアキタではなく、フィジーと近い場所として「日本にある秋田」が浸透したら素敵ですね。

最近の出来事あれこれ

両親のフィジー訪問

お正月休みに両親がフィジーに来てくれました。私の職場に行くと同僚に挨拶したり、友人と一緒にご飯を食べたりと、私の普段の生活を十分に見てもらうことができました。父はどこに行っても聞かれる「フィジー好き？」に慣れ、「好きだよ！みんな優しいから」と英語で答えることや、ココナッツを木から取って割ってジュースを飲むことがお手物になりました。母はクッションカバーをつくるのだと、フィジーらしいプリントの布を買って帰りました。挨拶のブラ、ありがたいのビナカ、伝統のカバヤロボ料理を楽しみ、すっかりフィジー通になった2人なのでした。

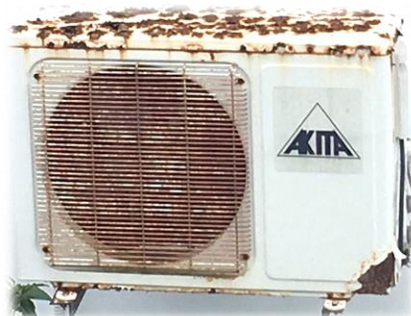


体のメンテナンス

実は1月に体調を崩し、健康のありがたみを改めて感じる機会となっていました。そこで今一度からだを大切にしようと思い立ち、歯のクリーニングに行くことにしました。職場の近くに最近できたばかりの医院は、清潔感があり評判が良いので安心です。面白かったのは、治療する時にサングラスを渡されたことです。これは日差しの強いフィジーならではのアイデアでしょうか？ライトが眩しくなく快適でした。これからも健康第一で頑張ります。



▲日本の支援が入った南太平洋大学ICTセンターの前には、記念の石碑がある



▲AKITAと書いてあるの
見えますか？

それではまた次号でお会いしましょう。Moce. Sota tale. (モゼ ソタ タレ/またね)